

2023.5.11

龍江クリテリウム大会関係者  
救護班 ALiS メンバー、協力者 各位

第2回 MOP 南信州 龍江クリテリウム  
救護本部長 新井克哉

## 第2回 MOP 南信州 龍江クリテリウム 救護班報告書

2023年5月4日(木)の行われた「第2回 MOP 南信州 龍江クリテリウム」に救護班を構成して参加をしたので報告をする。

### ■組織構成

- 主催 : 龍江クリテリウム実行委員会
- 共催 : NPO法人南信州バイコロジー協会 天龍峡八重桜街道さくら祭り実行委員会  
ボンシャンス
- 協賛 : 自転車のトライ
- 後援 : 株式会社南信州観光公社 天龍峡温泉観光協会
- 救護 : 一般社団法人 ALiS
  - ◇ 本部長: 新井克哉
  - ◇ 医師統括: 坂本広登
  - ◇ 看護師統括: 藤田昌寿
  - ◇ 看護師: 牧野勇氣
  - ◇ 看護師: 川手敬子
  - ◇ 医療スタッフ: 帯川直樹
- 連携 : 飯田市警察署(コースの交通規制と通行止めの承認)  
飯田広域消防本部(大会中の救急要請と連携の依頼)依頼書郵送  
伊賀良消防署 龍江分署  
飯田市立病院(大会中傷病者の収容依頼、職員ボランティア参加協力)依頼書郵送

### ■期間: 2023年3月26日~5月4日

○打ち合わせ: 2023年3月26日~5月3日

- ZOOM ミーティング 2回
- メール適宜
- 連携依頼書送付(飯田市立病院、飯田広域消防本部)
- 前日鬱合わせ 5月3日 15時~1時間程 大会会場  
救護所設置場所  
コースの確認 危険個所のリストアップ

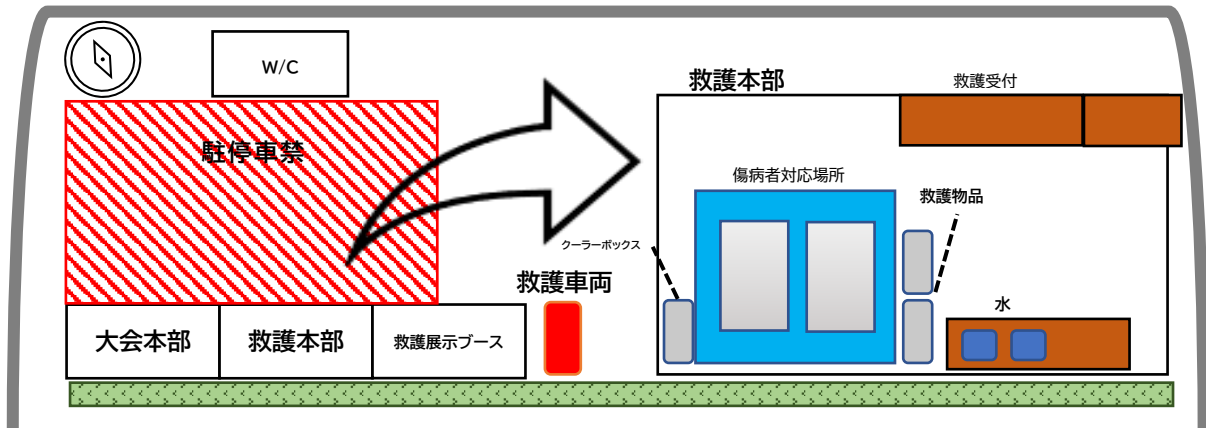
○大会期間: 2023年5月4日 7時~16時

- 大会運営スタッフ参加者のミーティング
- 本部テントの設営
- 救護所運営
- 撤収

■安全確保

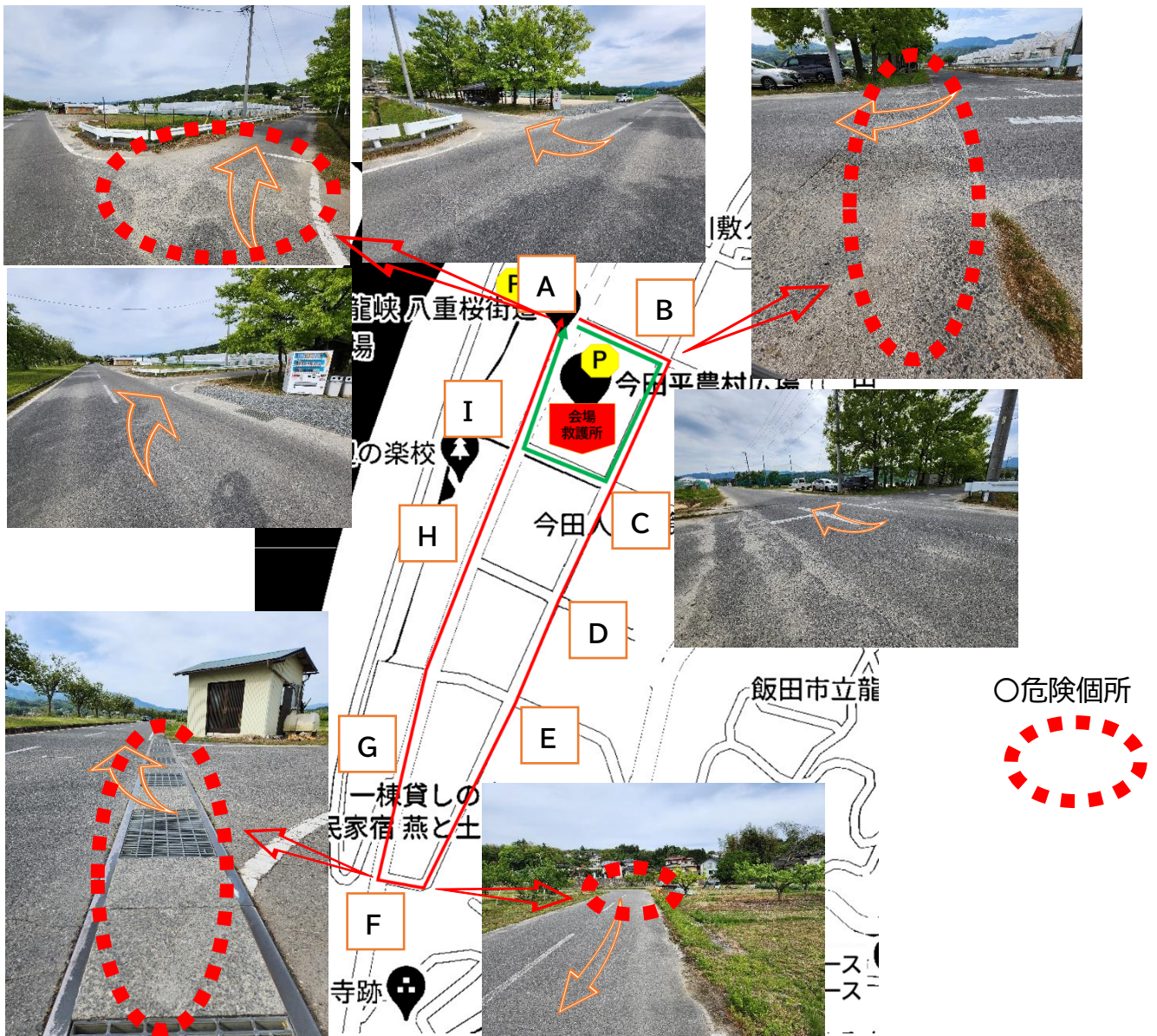
○会場:テント設営 3張

- 大会本部運営:実行委員会、大会ボランティア
- 救護本部運営:一般社団法人 ALiS メンバー、飯田市立病院医療スタッフボランティア



○コース内ポイント管理

- 人員:大会ボランティア
- ポイント:A~H(I:キッズのみ) 8カ所



## ■連絡体制

○無線機 大会本部用 11Ch  
救護本部用 12Ch 大会本部から2台借用

○緊急時 大会本部 傷病者関係者への連絡  
救護本部 救急要請(119番)

## ○救護班体制

### ● 傷病者発生時

- ✓ 救護本部待機:1名
- ✓ 救護班派遣:医師1名、看護師1名、医療スタッフ1名
  - ◇ 対応:救護班車両にて出動
  - 応急処置と救護
  - 記録用紙記入

## ■救護班対応報告

○対応傷病者:5名

### ● 症状:中等症1名、軽症4名

- ✓ 熱中症:1名(軽症) No、84
- ✓ 擦過傷:3名(軽症) No、10・41・81
- ✓ 筋痙攣:1名(中等症) No、65

○救護班車両出動:1回 ポイント情報が取れず行き違い

○救急車要請:0件

### ● 処置

- ✓ 水分補給・OS-1
- ✓ 安静
- ✓ 絆創膏
- ✓ 創部洗浄
- ✓ ガーゼ保護
- ✓ 冷却、クーリング

## ■活動課題

○準備について

### ● 救護物品

- ✓ 物品チェックリストの作成
- ✓ 競技に合わせた処置物品の選定
- ✓ 看護師による管理
- ✓ ワセリンの準備
- ✓ シャワーボトル準備
- ✓ コットン

### ● 予防と対策

- ✓ 会場内の巡回と声掛け
- ✓ 暑さ指数(WBGT)の確認と熱中症対策
- ✓ 危険個所の周知

## ○連携について

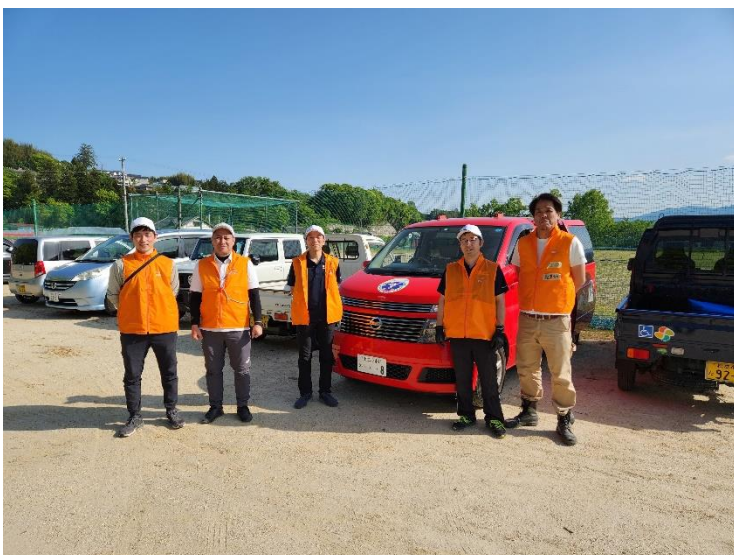
- 飯田広域消防本部
  - ✓ 依頼書により連携の承諾を頂けた
- 飯田市立病院
  - ✓ 依頼書により連携の承諾を頂きたかったが、前例がなく今回は職員のボランティア参加に止まってしまった。しかしながら、ボランティア参加を頂いたことにより、救護班員の補強に繋がった。次回以降、正式に派遣依頼ができるように、大会実行委員会と協議を行いながら働きかけていきたい
- 飯田警察署
  - ✓ 実行委員会でコースで使用する公道の使用許可(交通規制と進入禁止?)を得た
  - ✓ 交通規制と各ポイントに人員を配置をしたが、コース内への進入と進入未遂が多数発生してしまったので、人員の増員と補強をする必要と、交通規制の範囲拡大とその周知が必要と考えます。
- 自治体
  - ✓ 大会の周知の強化
  - ✓ 交通規制の周知
  - ✓ 大会への市民協力要請
- その他
  - ✓ 観光協会との協力
  - ✓ 協賛、後援の呼びかけ

## ○運営について

- 本部
  - ✓ タイムスケジュールの共有スペースがあるといいと思いました
  - ✓ マイク、スピーカーがあると広く周知が出来ると思います
  - ✓ レース中のコース進入は大変大きな事故につながるため、しっかりとした交通規制をしたい
  - ✓ 法人側のスタッフが大会本部側にリエゾン役としてサポートで入ってもいいと思います
  - ✓ 各ポイントのコースサイン(〇〇の D ポイント)などアルファベットは発音により聞き取りづらいため、呼称しやすい聞き取りやすいコースサインを検討したい。また、法人メンバーは無線機の取り扱いに慣れているので、ポイント管理もできると思います
- 救護班
  - ✓ スポーツイベントなので、リハビリスタッフなどのストレッチやマッサージが出来るスタッフがいたら、救護活動の幅が広がると思います
  - ✓ ALiS 救護車両の乗車人数やブリーフィング方法を決めておけば良いと思う
- 展示ブース
  - ✓ BLS 体験ブース 6 名
  - ✓ レスキューチャージャー 多数訪問と充電体験
  - ✓ 多人数の方に興味を持って頂きました。次回も引き続き、展示を行っていきたいと思います

## ■その他

- 今回、ALiS 救護班として初めての参加となりました。救護活動をメインで行うことは当たり前ですが、事故(傷病者発生)の予防として、コース全体の管理やポイントでの交通規制と侵入者(ガヤ)対応も、安全に大会を行う上では非常に大きなウェイトを占めると思いました
- TOJ プレイメントとして、また若手育成イベントとしてもっと盛り上がるような大会にしたいと思いました
- 地域の拠点病院(飯田市立病院)と二次医療機関とも連携を取り、多重落車等の重大な事故での収容先として協力を得てもいいと思います
- 救護班だけの参加ではなく、運營業務にもかかわりを持つことで、各機関と連携がとりやすくなると思います



## ■最後に

今回、救護班の依頼を頂きありがとうございました。

大会内の報告と、救護班参加者の意見を列挙させていただきました。今後の参考になればと思います。

継続してかかわりを持ち、大会を盛り上げていきたいと考えています。

今後ともよろしくお願ひします。